

サイクリングしまなみ2026 基本方針

1 目 的

広島県と愛媛県を結ぶ西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）は、温暖な気候、多島美の自然や架橋による魅力的な景観と各橋に併設された自転車歩行者道など、多くのサイクリストが認める日本屈指のサイクリングの適地である。

これまで、しまなみ海道沿線では、サイクリングロードの整備、ルール・マナーの普及啓発など、地域一体となって“サイクリストの聖地＝瀬戸内しまなみ海道”の魅力を磨いてきた。その中で、2014年から、供用中の高速道路本線を規制して行う日本最大規模のサイクリング大会を開催し、国内外に魅力を発信しているところであり、2019年11月には、しまなみ海道サイクリングロードが「ナショナルサイクルルート」として国から指定を受け、日本を代表し世界に誇れるコースに成長している。

2026年は、国際サイクリング大会を開催して、改めて世界における“サイクリストの聖地＝瀬戸内しまなみ海道”を情報発信することにより存在感を示し、しまなみ海道エリアの交流人口の更なる拡大等を通じた地域の振興・活性化を図る。

2 大会概要

- (1) 名 称 瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2026」
- (2) 期 日 2026年10月25日（日） ※前日に受付実施
- (3) 場 所 瀬戸内しまなみ海道及びその周辺地域
- (4) 主 催 サイクリングしまなみ実行委員会
広島県・愛媛県をはじめとする地元自治体・関係団体等で構成
- (5) 募集対象 国内外のサイクリング愛好者等
- (6) 参加定員 7,000人程度
- (7) 大会スタイル レースではなく、サイクリングを楽しむファンライド
- (8) コース内容 ■スタート 尾道（向島）7:37、今治8:15
■フィニッシュ（制限時間） 17:00

コース (距離)		コース（詳細）				定員
		スタート	本線利用区間	一般道区間	フィニッシュ	
A	尾道(向島)⇒今治 (片道) (約70km)	向島IC	向島IC→ 大三島IC (約23km)	大三島→(大三島橋)→伯方島→(伯方・大島大橋)→大島→(来島海峡大橋)→今治市内	広小路	1,250名
B	尾道(向島) ⇔上島 (往復) (約70km)		向島IC→ 生口島南IC 手前管理道 (約17km)	生口島→(フェリー)→岩城島→(岩城橋)→生名島→(フェリー)→因島→(因島大橋)→向島	向島運動公園	250名
C	今治⇔大三島周遊 (往復) (約100km)	今治IC	今治IC→ 大三島IC (約30km)	大三島周遊→(大三島橋)→伯方島→(伯方・大島大橋)→大島→(来島海峡大橋)→今治市内	広小路	1,250名
D	今治⇔尾道(向島) (往復) (約140km)		今治IC→ 因島南IC (約43km)	因島→(因島大橋)→向島→(因島大橋)→因島→(生口橋)→生口島→(多々羅大橋)→大三島→(大三島橋)→伯方島→(伯方・大島大橋)→大島→(来島海峡大橋)→今治市内	広小路	500名
E	今治⇔尾道(向島) (片道) (約65km)			因島→(因島大橋)→向島	向島運動公園	1,000名
F	今治⇔大三島折返 (往復) (約70km)		今治IC→ 大三島IC (約30km)	大三島→(大三島橋)→伯方島→(伯方・大島大橋)→大島→(来島海峡大橋)→今治市内	広小路	1,250名
G	今治⇔上島 (片道) (約75km)		今治IC→ 生口島南IC (約35km)	生口島→(フェリー)→岩城島→(岩城橋)→生名島→(生名橋)→佐島→(弓削大橋)→弓削島	弓削港	500名
H	来島海峡SA⇔大島 (往復) (約30km)	来島海峡SA	来島海峡SA→ 大島BS (約12km)	大島周遊→(来島海峡大橋)→今治市内	広小路	1,000名

※過去大会の検証結果等を踏まえ、円滑な大会運営のための検討を進めていく。

- (9) コース設定方針
- ・自動車専用道路では、上り線（尾道方面）を使用する一方通行（逆走禁止）とし、下り線（今治方面）は緊急車両の走行用として確保する。
 - ・一般道路では一列走行とし、指定コースを走行する（逆走禁止）。
 - ・コース上に制限時間（関門）を設定する。
- (10) 通行規制
- ・自動車専用道路：大会当日の6時間40分以内
今治 I C ～因島北 I C 6:00～12:40 ※前回大会より40分延長
因島北 I C～尾道大橋出入口 6:00～10:00
※新尾道大橋は通行不可、尾道大橋は通行可
- (11) 参加受付
- ・原則として前日受付とし、今治市内、尾道市内及び松山市内で受付
- (12) 安全対策
- ・前回大会の実施状況を踏まえ、安全管理・誘導員の設置等の対策を実施
- (13) 代替交通
- ・定期航路の活用・強化（増便）
 - ・臨時フェリーの運航
- (14) そ の 他
- ・交流拠点・休憩場所を設置
コース上の概ね20～30kmごとに設置
 - ・参加者への便宜
臨時駐車場の確保、荷物運搬サービス等
 - ・賑わいイベントの開催等
受付及びフィニッシュ会場において、協賛企業や県内自治体等によるブース出展と、ステージイベント等を実施
大会前日に今治市内で歓迎レセプション等を開催

3 その他

- ・今後、この基本方針をもとに、道路管理者及び交通安全管理者等との協議を実施しながら、本サイクリング大会の安全かつ円滑な実施を図る。
- ・また、本サイクリング大会の開催に向けては、地元住民や関係事業者等への説明等を通じ、理解の促進を図る。